

定例記者会見資料 令和7年3月18日 福祉部福祉課

市では、地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を構築するため、令和7年4月1日から「奥州市重層的支援体制整備事業」を実施します。

地域共生社会課を新設し、支援者支援の機能や事業の推進体制を整えるとともに、地域に寄り添った伴走型の支援を行うため、社会福祉法人奥州市社会福祉協議会と業務委託契約を締結し、専任職員を配置します。

1 重層的支援体制整備事業の概要

I 属性を問わない相談支援、II 参加支援、III 地域づくりに向けた支援の3つの支援を一体的に提供するため、①包括的相談支援事業、②参加支援事業、③地域づくり事業、④アウトリーチ等を通じた継続的支援事業、⑤多機関協働事業の5つの事業を実施します。

本人・世帯を包括的に受け止め支える支援

本人中心、本人の力を引き出す支援

I 属性を問わない相談支援

属性にかかわらず包括的に相談を受け止める機能

- ①包括的相談支援事業
- ④アウトリーチ等を通じた継続的支援事業
- ⑤多機関協働事業

関係機関が協力して、チームとして課題に対応するための体制づくり

II 参加支援

社会とのつながりや参加を支援する機能

- ②参加支援事業

これらを一体的に行う「包括的な支援体制」

地域住民同士の交流や社会参加の場等の促進

地域とのつながりや関係性づくりを行う支援

III 地域づくりに向けた支援

緩やかな見守りや場の機能

- ③地域づくり事業

住民に身近な圏域で、様々な地域生活課題の相談などに応じる体制づくり

早期の発見・支援

2 事業の推進体制

(1) 地域共生社会課の創設

- 基幹型地域包括支援センター（奥州市地域包括支援センター）を、事業を主管する「**地域共生社会課**」としてリニューアルします。
- 「多機関協働推進員」を配置して支援者支援の機能を拡充し、関係機関が協力して、チームとして課題に対応するための体制づくりを進めます。
- 各分野の総合相談窓口はこれまでどおり維持し、各窓口で市民の相談を受け止めて適切な機関につなぎ、連携して対応します。【別紙資料参照】

(2) 地域福祉コーディネーターの配置

- 業務委託により、参加支援・アウトリーチ等を通じた継続的支援・地域づくり事業の3事業を一体的に行う専任職員「**地域福祉コーディネーター**」を配置します。
- 地域福祉コーディネーターが地域に出向き、潜在的な支援ニーズを拾い上げるほか、地域に寄り添って市民の地域福祉活動を支援します。

（支援の例）地域のニーズ把握や資源とのマッチング、モデル事業の検討、地域セーフティネット会議や情報交換の場・居場所の開催支援

I 属性を問わない 相談支援

①包括的相談支援事業

相談を受け止め、適切な機関
につなぎ、連携して対応

(高 齢)
地域包括支援センター

(障がい)
基幹相談支援センター
相談支援事業所

(子ども)
こども家庭課、保育こども園課
子育て総合支援センター
こども家庭センター

(困 窮)
くらし・安心応援室

困りごとを早期に発見して支援につなげる

地域福祉コーディネーター等の地域づ
くり支援を通じて、地域生活課題に気
づき、支援機関につなげる機能を強化

⑤多機関協働事業

複雑化・複合化した課題を抱えるケース

- ・課題のときほぐし
- ・支援関係機関の
役割分担
- ・支援方針の検討
- ・支援プランの作成



④アウトリーチ等を通じた継続的支援事業

自ら支援を求めることができない人・拒否的な人 など

地域福祉
コーディネーター

必要な支援が届いていない人
を把握し、対象者とのつなが
りづくりから行う

地域住民同士の支え合いや緩やかな見守り

地域住民同士のつながりやさまざまな支援関係機関
のネットワークを通じて、見守り体制を構築

II 参加 支援

②参加支援事業

既存の事業では対応できない
個別の社会参加のニーズ

地域福祉
コーディネーター

- ・社会資源のコーディネーターやマッチング
- ・ニーズに合わせた新たな支援メニューの作成

多様な主体との マッチング



地域の社会資源の拡充

地域課題を起点にして地域資源や
施策を創出

③地域づくり事業

世代や属性を超えて交流できる
場や居場所の整備、活動や人の
コーディネート、プラット
フォームづくり

(子ども)
子育て支援センター

(障がい)
地域活動支援センター

(高齢・困窮)
奥州市社会福祉協議会
地域福祉コーディネーター
(第2層生活支援コーディネーター)

(高齢)
地域介護予防活動支援事業・生活支援体制整備事業
(市保健師・保健指導員)
(市第1層生活支援コーディネーター)

III 地域づくり に向けた 支援

- ・地域運営組織と連携した
ニーズや資源の把握と
マッチング
- ・地域セーフティネット
会議の拡充

地区振興会・
自治会など

よさてくらぶ
サロン・地域食堂